

試聴会・訪問記掲載

河口無線夏のオーディオ三昧報告(2017.8.13)

河口無線では、ゴールデンウィーク、お盆休み、年末年始の休日などに合わせてオーディオ三昧という催しを行っています。今回もお盆休みに合わせて開催されていました。デモ機の試聴に先立って、カートリッジの試聴も行い、同席されたオーディオ仲間のM氏、O氏、Mt.T2氏も引き続き参加されました。

2017年8月11日～2015年8月14日

時間:PM1:00～PM5:00

【3F ハイフィデリティ試聴室】

<使用機材>

試聴対象は以下の3システムです。

【第一システム】



B&W スピーカーシステム 802D3 ¥3,672,000 (ペア)



ヴィオラ プリアンプ カデンツァ ¥2,700,000



ヴィオラ パワーアンプ シンフォニー ¥3,348,000



エソテリック SACD プレーヤー K-01X ¥1,566,000



タスカム ワードクロックジェネレーター CG-1000 ¥162,000



リン ネットワークオーディオプレーヤー AKURATE-DS-K ¥972,000

【第二システム】



ファルコン スピーカーシステム model-503b ¥1,620,000 (ペア)



LUXMAN SACD プレーヤー D-08u ¥1,188,000



ラックスマン プリアンプ C-900u ¥1,188,000



ラックスマン パワーアンプ M-900u ¥1,188,000

【第三システム】



JBL ホーン型スピーカー Model-4367WX ¥1,555,200 (ペア)



マッキントッシュ プリメインアンプ MA-6700 ¥756,000



アキュフェーズ SACD プレーヤー DP-720 ¥1,188,000

<当日の設置状況>



第一システム



第二システム



第三システム

<試聴経過>

カートリッジの試聴の後、持参した CD を聴くことにしました。



まず、第一のシステムで3枚のCDを通して聴きましたが、ケルテス指揮のウイーンフィルの新世界は解像度がよく迫力がありました。シュタルケルのバッハの無伴奏チェロ組曲は、これも演奏の生々しさが迫ってくる感じです。パッヘルベルの協奏曲集からはカノンを聴きましたが、ガット弦がやや硬質になるきらいがありました。

第二のシステムと第三のシステムでは、バッハの無伴奏チェロ組曲を聴きましたが、第二のシステムではチェロがやや乾いた感じになり、第三のシステムでは、広がり感の出る無指向性の良いところと、定位があいまいになりがちなところがあり、曲を選ぶように感じました。

この後、O氏、Mt.T2氏もそれぞれ持参のCDを聴いておられましたが、全体を通して、先ほどのアナログの印象が強く残っており、ハイエンド機器をもってしてもインパクトを感じにくい状況でした。

以上